

都 々 逸 ^{いや} 嫌なお方の親切よりも
 好いたおひとの 無理がいい

他人に頼めば 浮き名が恐し
 二人じゃ文殊の 智意も出ず

来るか来るかと 待たせておいて
 どこへそれたか 夏の雨

楽は望まぬ 苦労は承知
 苦労しがいの あるように



数学の時間

あるテーマパークの入場料は、大人3人と子供5人で、8,500円、大人4人と子供3人では、8,400円でした。大人1人の入場料はいくらですか？

サラリーマン川柳

- 1 連れ込むな 私は急に 泊まらない
- 2 前向きに 検討しながら 後ずさり
- 3 お茶入れた 憎たらしいから 指入れた
- 4 はやり歌 すたれた頃に 歌覚え
- 5 間違っ て 送ったメールで 今は妻
- 6 もう大人 まだ子供だと 使い分け
- 7 英会話 度胸はいいねと 言う講師
- 8 すくすくと 育てたつもりが ぶくぶくと
- 9 妻の字が 毒に見えたら 倦怠期
- 10 帰りぎわ 取らなきゃ良かった この電話

蕎麦豆知識 【霧下そば】

「霧下そば」という言葉は高品質のそばの代名詞として使われる。戸隠から黒姫、妙高山麓は、昔から、良質のそばの産地として有名。この地方は霧が発生しやすく、霧下そばと呼ばれるようになった。夏場でも冷涼で、日照時間が短いという気象条件が生んだ蕎麦である。

江戸そばなし 【間 男】

間男が、亭主に浮気の現場を見つけられ、あわてて二階に駆け上がった。
 亭主は落ち着き払って間男を下に呼び下ろし、すごみをきかせて、「酒を買ってこい」と言うので酒で片がつくのならば、急いで酒を一升買って来た。亭主、間男を前に座らせ、酒をチビリ、チビリ呑みながら、ぐっとにらんで、「いいか！文吉！今度みつけたら、蕎麦も買わせるぞ！」

☆ 間 男 …… 人妻がひそかに夫以外の男と通じること。

江戸のことわざ 【覆水盆に返らず】

一度こぼした水は元へ戻すことは出来ない意。原典は中国・六朝の怪異小説『拾遺記』にある言葉。江戸時代には、浄瑠璃や歌舞伎、ことわざ集を通じて広く知られた。中国の盆は日本の盆とまったく違って酒や水を入れる胴太の容器である。

原典では、読書ばかりしている呂尚に妻は愛想をつかし、離縁してもらった。ところが、呂尚は宰相に出世すると、妻は復縁を願った。呂尚は盆から水を地面に流し『水を盆に戻せたら、再婚してやろう』と言った。

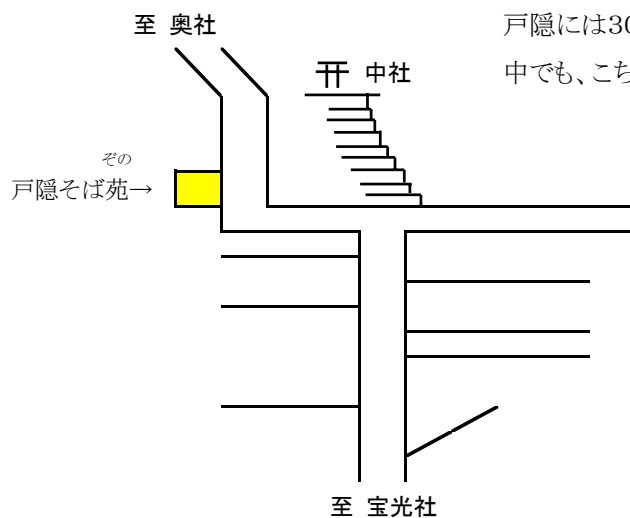
経済の時間 【デリバティブ】

金融派生商品、つまり、為替や金、株式などの本来の金融商品から派生した新しい金融商品のこと。その代表がスワップ、オプション、先物など。世界のデリバティブの想定元本額は、98年末まで、約51兆ドルに達している。

源氏物語 【物語の概要 ③】

光源氏18歳、藤壺への恋心は深まるばかりだった。病気の治療に出掛けた北山で藤壺にそっくりの少女、紫の上を発見した源氏は、彼女を引き取るが、ついに藤壺と密通し、藤壺は源氏の子を産む。これ以後、藤壺は源氏をきびしく拒絶する。紫宸殿の桜花の宴の夜、源氏は偶然に朧月夜と逢った。朧月夜は尚侍になるが、源氏との密会はやまない。一方源氏は妻の葵の上と親しめず、高貴な女性を求めて六条御息所を恋人にしたが、心が通わなくなっていた。桐壺院の崩後、右大臣家の圧迫が強まる中、藤壺は出家し、源氏は朧月夜との密会が発覚して除名処分を受け、ついに須磨に退去する。26歳の春である。1年後嵐のさなか夢の告げにより、明石に移り、明石の君と結婚する。

おいしい“蕎麦”のお店【長野県 戸隠村編】



戸隠には30店ぐらい“蕎麦”のお店がありますが、中でも、こちらのお店、抜群の味です。

